

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



【学校教育目標】「たしかな学び あたたかい心 すこやかな体 ゆたかなかわり合い」

【学校経営方針】「地域と共に歩む 明るいあいさつ かがやく笑顔」

【めざす学校像】「あいさつと笑顔があふれる、信頼と潤いのある学校」

本校は、さいたま市の西南部・桜区西堀にあり、明治6年に本校前身の西堀学校が創立されて以来、明治、大正、昭和、平成、令和と激動の時代を地域の教育愛に支えられ、輝かしい歴史と伝統を築いてきた市内有数の伝統校の一つです。

これまでに一万有余名の卒業生を送り出し、創立133周年を迎えました。

■所在地：さいたま市桜区西堀 7 丁目 21 番 1 号

■電話：048-862-5156

■FAX：048-836-1580

■交通：JR 中浦和駅徒歩 17 分 西浦和駅徒歩 23 分

01 保護者・地域による児童見守り活動



地域の方による「下校時安全ネットワーク」、「ながらボランティア」、「育成会パトロール」、PTA 校外委員による旗振り・見守り活動等、保護者・地域の皆さんの数多くの協力を得て本校の児童の安全が守られています。

今後も、地域の皆さんへの感謝の気持ちを大切に、地域と共に歩む学校であり続けます。



02 届け！土合小の気持ちプロジェクト



東南アジアの子どもたちに使わなくなった靴や文房具を送る活動を行っています。

児童のワールド委員会が中心となり、不用品の回収、送付を行っています。NPO 法人 S.B Heart Station の協力により、タイ、カンボジア、フィリピンの子どもたちに届けられています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。

さいたま市立

大久保小学校



1 学校教育目標

「ゆめにむかって かしこく やさしく たくましく」

- 「進んで学ぶ子」「心豊かに人とかかわる子」「心身ともにたくましい子」の育成を目指し、可能性を引き出す教育の推進
- 創立95周年を迎え、長く地域に根差した学校



■所在地：さいたま市桜区五関2-1 ■電話：048-854-7636
■FAX：048-840-1425 ■交通：西武バス「大久保」徒歩1分

01 学習指導の工夫改善のために



本校では、昨日できなかったことを今日できるようにする教育の推進をめざし、学習指導の工夫改善・充実を図っています。

全ての児童に学びを保障するため、授業の基本形となる「大久保スタンダード」を作成し、どの教員も質の高い授業づくりができるような体制づくりに努めています。児童一人一台配備されたタブレット端末を、よりわかりやすい授業のために、自分の考えを深めたり、広げたりと様々な場面で活用しています。



02 「食」について考えさせるために



児童の「食育」の充実のために近隣の畑を借り、「大久保レインボーファーム」として野菜の栽培を行っています。

児童は、草取りなど畑のお世話を通し、食べ物を作る大変さ、自然と触れ合う楽しさを学びます。収穫をした野菜は、給食で使用したり、ポップコーンを作ったりとおいしくいただきます。栄養教諭・養護教諭など専門の教員と連携した、実践的な食育の授業を行っています。



03 福祉に関心をもち、生活につなげるために



ブラインドサッカーの体験学習を実施しています。児童は、選手の話の聞いたり、実際にブラインドサッカーを体験したりすることで、目の見えない生活の苦労を知るだけでなく、目が見えなくても前向きな気持ちで生活していることを知り、学びを深めています。また、車椅子や白杖を借用して学校で実際に体験し、知識だけの学習にならないように努めています。道徳の時間との連携を図り、誰もが生活しやすい福祉の充実したまちづくりに参画する意識を高めています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



さいたま市立
栄和小学校



栄和小学校の教育目標

『かしこく・やさしく・たくましく』

かしこく（知）=基礎・基本の学習を定着させ、向上心と自主性を育成する
やさしく（徳）=思いやりと感謝の心を大切に、協働・自尊感情を育成する
たくましく（体）=心身ともにたくましく、ねばり強い力を育成する

栄和小学校のスローガン【花と歌と笑顔あふれる学校】

花：潤いのある美しい環境

歌：豊かな心、響き合う心

笑顔：やさしさと思いやり



■所在地：さいたま市桜区栄和 1 丁目 7 番 1 号 ■電話：048-853-4022

■FAX：048-840-1427 ■交通：JR 埼京線南与野西口より埼玉大学行「栄和北町」下車徒歩 7 分

01 地域とともにある学校づくり



本校では、「総合的な学習の時間」において、地域とともに、横断的な学習を行っている。第3学年の「さかわのまちを調べよう」では、自分の暮らすまちの特徴について調べることを通

して、自然や文化等のすてきやそれらを支える人々の思いに気づき、地域の一員として自分にできることを考えていく。第4学年の「未来のわたしへのおくりもの」では、人生100年時代を見据えて健康が豊かな人生の実現に果たす役割に気づき、健康の保持増進に資する生活ができるようにする。第5学年「共に生きる～みんなにやさしいユニバーサルデザイン～」では体の不自由な方や高齢者のくらしを支える人々の取組や思いに気づき、誰もが心地よく生活できる共生社会の在り方について考えていく。第6学年「未来のわたし～自分の生き方を考えよう～」では、働く人々の仕事に対する考え方や生き方にふれて、働くことの意義を理解したり、自分のよさや可能性に気付いたりし、将来にわたる自分の生き方を見つめ考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

それぞれの活動を通して、目標2「飢餓をゼロに」、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標11「住み続けられるまちづくり」に寄与できる児童を育成していく。

02 自分の思いや考えを表現できる児童の育成



「主体的に学習に取り組み、自分の思いや考えを表現できる児童の育成」を学校課題研究として取り組んでいる。市や全国の学習状況調査の結果を受け、子どもたちがどのような問題でつまづいているのか、分析を把握して教職員で共通理解を図る。「学びの指標」を生かした授業研究を通して自分の思いや考えを表現できる児童を育成するとともに質の高い教育を目指していく。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。



さいたま市立
田島小学校



校訓 『強い子、田島小学校』

強い頭（学びの楽しさを育む） 強い心（あたたかい心を育む）
強い体（健康な心身を育む） 強い絆（地域で育む）

《学校教育目標》

心豊かである子
・進んで学習する子 ・思いやりのある子 ・健康で明るい子



■所在地：さいたま市桜区田島 10-12-1
■FAX：048-836-1578

■電話：048-863-8122
■交通：JR 西浦和駅徒歩15分

01 豊かな自然環境を生かした栽培活動・環境教育の充実



本校は、学校ファーム、野鳥の森、学校のすぐ隣の荒川の土手等、自然豊かな環境に囲まれています。学校ファームでは、年間を通じて作物を栽培し、苗植え、水やり、収穫や観察等を行っています。「畑の先生（地域のボランティア）」の協力を得ながら、作物を作る喜び、大変さを実感すると共に収穫したものを家庭に持ち帰り、食べることで、残さずいただくことを大切にできる児童を育てています。また野鳥の森、土手、彩湖公園を活用し、季節ごとの植物や昆虫を見る・触れる採取する学習を通して、豊かな自然をこれからも守っていかうとする気持ちを高めていきたいと考えています。こうした活動を通してSDGsの目標12「つくる責任つかう責任」、目標15「陸の豊かさも守ろう」に寄与していきたいと考えています。



02 学校給食から始める食品ロスへの取組（児童そして家庭へ）



児童の声を反映させた「夢の給食」では、アンケートをもとに献立を作成したり、給食で使うトウモロコシの皮むき体験を実施したりすること等を通して、児童が毎日の給食への関心をもてるよう様々な企画を実施しています。セレクト給食では、自分で選んだメニューを食べることで、食に対する意識を高めることができました。給食委員会の児童が、昼の放送で献立に使われている食材についての説明を行い「残さずきれいに食べましょう」の合言葉を毎日伝えています。また、家庭への食に関する啓発として、給食試食会や毎月家庭でできる献立を給食だより等で発信するなど食事の大切さ、いろいろな食材を食べることへの意識付けを家庭の協力も得ながら実践しています。家庭からは、「初めてこの食材を使いました」「子どもが苦手としていた野菜を、教えていただいたレシピで作ったら、おいしいと言って完食しました」などという声をいただきました。この取組を継続し、食の大切さを伝えていきたいと考えています。第5学年の総合的な学習の時間では、「日本の食文化」の学習を通して、日本の食文化の特徴を調べ、主食・主菜・副菜を組み合わせた栄養バランスのよい食事や、食べ物への感謝の気持ちを大切にする考え方を知ること、食べ物を無駄にしない意識をもつことや、食品ロスの削減につながると考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 大久保東小学校** > > > > > > >

学校スローガン

『輝く笑顔 「あい」 でつながる 大久保東小学校』

本校はこのスローガンのもと、
「自分や友達を大切にし、前向きに行動する子」
「進んで学習し、考えや思いを豊かに表現できる子」
「健康な心と体で、ねばり強く努力する子」
の育成を目指しています。



■所在地：さいたま市桜区大久保領家 331 ■電話：048-852-3065
■FAX：048-840-1426 ■交通：北浦和駅よりバス 20 分

01 誰にとっても学びやすい環境でわかりやすい授業を



本校では、ユニバーサルデザインの視
点を取り入れた教室環境の整備に取り組
んでいます。教室前面のレイアウトを全
校で統一することで、児童が集中して授
業に臨むことができる環境を目指してい

ます。そして授業のねらいや流れを明確にすることで、児童が
見通しをもって授業に参加でき、「できた！わかった！」と声
がとびかう様な誰もがわかりやすい授業を目指しています。



02 世界の問題に関心をもち、国際感覚を養うために



本校では、児童による国際・福祉委員
会発案のもと、北校舎と南校舎を繋ぐ渡
り廊下「世界の道」に、万国旗を掲示し
ています。

また、世界の
食文化に興味をもってもらうために、国旗の裏面にはその国の
「代表的な国民食」が見られるようにしています。



03 地域との協働のもと心安らぐ学校づくり



本校では、児童による飼育・栽培委員会
を中心に、地域ボランティアさんと協働
して学校の緑化活動に取り組んでいます。
地域ボランティアさんは、「花を見た人の
心が少しでも

明るくなればうれしい。」と話してくれました。大久保東小学校の
子どもたちはもちろん、保護者や地域の方々が集まる大久保東小
学を花でいっぱいの美しい学校にし、地域の憩い場にしたいと考
えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



- 1 学校教育目標「夢にむかって ともに学びあう学校」
～学校・家庭・地域が信頼の絆で結ばれた、ぬくもりのある学校～
- 2 めざすしびらきっ子
「ひとみ輝く」「明るく」「あたたかく」「ねばり強く」
- 3 自然豊かな環境に恵まれているユネスコスクール
「環境教育」「人権教育」「福祉教育」「地域協働学習」



■所在地：さいたま市桜区新開 2 丁目 1 8 番 1 号 ■電話：048-864-6741
■FAX：048-836-1577 ■交通：JR 武蔵野線 西浦和駅 西口 徒歩 17 分

01 環境を守る学習やリサイクル活動の取組



本校では、総合的な学習の時間に「サクラソウ」や「稲作体験」など、



環境をテーマにした探究活動を通して学習を深めています。「サクラソウ」は、近隣に国の特別天然記念物に指定されている「田島ヶ原サクラソウ自生地」があり、毎年現地を訪れて見学したりサクラソウを守る会の方にお話を伺ったりして知識を得るとともに、上級学年から引き継いだ「サクラソウ」を守り育てる学習も進めています。「稲作体験」では稲の生育を学ぶ体験から、環境を守る取組へと意識を高めています。そして、全校児童での秋ヶ瀬公園のごみを拾ったり、紙のリサイクルやコンタクト空容器の回収をしたりするなど、環境を守る活動につなげています。

02 人権意識や多様性を育む取組



児童会活動や学級活動を中心に、いじめ撲滅強化月間やなかよし遊びなどを通して、自他を尊重する心を育み、望ましい人間関係の構築といじめの防止に取り組んでいます。

また、昨年度はゲストティーチャーを呼んで、国際理解についての学習も実施し、多文化共生や人権尊重の意識も育てています。

また、昨年度はゲストティーチャーを呼んで、国際理解についての学習も実施し、多文化共生や人権尊重の意識も育てています。



03 地域の方から思いやりを学ぶ取組



防犯ボランティアの方や学習ボランティアなど、地域の方々の関わりを通して、福祉や奉仕活動などに関心をもち、あいさつ運動、クリーン活動、募金活動などと関連付けて、思いやりの精神を育んだり、小さな親切に取り組もうとしたりする自主的・実践的な態度につなげています。

福祉や奉仕活動などに関心をもち、あいさつ運動、クリーン活動、募金活動などと関連付けて、思いやりの精神を育んだり、小さな親切に取り組もうとしたりする自主的・実践的な態度につなげています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
神田小学校



【学校教育目標】

人間性豊かで 21 世紀をたくましく生きる 神田の子
かしこく たくましく あたたかく

目指す児童像

〇かしこく

・未来に向かって新たな発想を見出し、
当事者となって取り組むことができる子

〇たくましく

どんなことにも粘り強く、
時には臨機応変に物事に
立ち向かえる子

〇あたたかく

同じ目的に向かって
「よい関係」を築き
あたたかい心で人に
接することができる
子



■所在地：さいたま市桜区神田 541-1 ■電話：048-853-4377
■FAX：048-840-1428 ■交通：JR 北浦和駅西口よりバス 15 分

01 すべての児童が安心して通える学校づくり



本校では、「基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、思いやりのある子を育てる」を目標に、生徒指導を展開しています。



(1) 一人ひとりの子どもをしっかりと見取るために

「時を守り、場を清め、礼を正す」を基本理念におき、潤いのある学級・学年経営を行い、心の教育の充実を図っていきます。また、教育相談体制の充実と特別支援教育の推進を図っていきます。

(2) あいさつあふれる学校づくり

「明るい笑顔と元気なあいさつがあふれる学校」をめざす学校像の一つにし、子どもたちの明るいあいさつがあふれる学校づくりに努めていきます。まずは、教師が率先して、子どもたちに元気なあいさつをすることを心掛けていきます。

02 日々の授業の充実に向けて



本校では、各教員が共通理解のもとに授業を展開し、日々の授業の充実を図っています。



(1) 確かな学力を身に付けるために

学ぶ意欲と基礎学力の向上を目指した授業の工夫、iPad を活用した授業実践、学習規律・学習ルール「大久保学園のルール」の確立を図り、主体的・対話的な学びの充実を目指しています。

(2) 「自立して、協働する子を育てる」を研修のテーマにして3年目

児童自身が、自ら考えて行動し、自分から学ぼうとする姿（自立）、友達と関わり、自分の考えを広げられる姿（協働）を研修のテーマにして3年目になります。児童自身が主体的に学べるような授業の展開、児童が「楽しい！」と思えるような授業を目指し、教職員の研修に努めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



学校教育目標
具体目標
めざす児童像

「心豊かでたくましく 共に生きる児童の育成」
[よく学び よく遊び よく働く]

生活の基本

中島小 3 つの大切

行動の基本

中島小 4 つの行動

あいさつ かんきょう はきもの

やさしい心でなかよくしよう

自分の行動に責任を持とう

にがてなこともがんばろう

4 つの言葉をたいせつにしよう

■ 所在地：さいたま市桜区中島 1-28-1 ■ 電話：048-854-9900
■ FAX：048-840-1429 ■ 交通：JR埼京線南与野駅より徒歩 15 分

01 古紙やペットボトルキャップのリサイクル活動



本校では、全校児童により、給食の牛乳パックリサイクル活動に取り組んでいます。飲み終わった牛乳パックを開き、洗って乾かし、紙の資源として再利用できるよ

うにしています。こうして資源となった牛乳パックは、新 1 年生が使う机の引き出しなどに生まれ変わります。ほかにも美化委員会やボランティア委員会の児童を中心に、ペットボトルキャップやコンタクトレンズケースの回収にも取り組んでいます。今まで廃プラスチック等に分類されてきたものを回収することで、環境への配慮をするとともに、世界で病気の危険に直面している子どもたちを救うことにもつながります。また、PTA のみなさんの呼びかけで、年 3 回の資源回収を行っています。回収された古紙等の資源による収益は、学校の教育活動に役立てられています。児童・家庭・地域の取り組みにより、年々児童の意識も高まり、たくさんの資源が集まるようになっていきます。

02 安心・安全な給食づくりから食品ロスへの取組まで



本校では、「給食試食会」「地域の方との交流給食」「給食だより」「学校ホームページによる献立紹介」などを通

じ、家庭や地域に向けて安心・安全な給食を提供していることを発信しています。栽培委員会の児童が栽培活動を行っている学校の農園では、ダイコンやジャガイモなどの野菜を育てており、給食にも活用されています。また、給食委員会の児童を中心に、食育に関する活動が年間を通して行われています。その 1 つに「プラス 1 スプーンデー」があります。児童一人ひとりが無理のないように自分の分量を食べるとともに、「いただきます」の意味を考え、作ってくれた人への感謝の気持ちがもてるようにしています。学校での活動が、家庭での食育につながるように、これからも積極的な情報発信と児童の主体的な活動に取り組んでいきます。

